

平成23年度第3四半期までの運用状況等

(平成23年4月～12月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成23年度第3四半期まで（平成23年4月～12月）の運用環境について	1
2. 平成23年度第3四半期まで（平成23年4月～12月）のポートフォリオ別の運用状況 . . .	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
参考：用語の説明	5

1. 平成23年度第3四半期まで（平成23年4月～12月）の運用環境について

○国内外の金融・経済情勢について

（第1四半期）

第1四半期の国内外株式市場は、4月は東日本大震災による企業業績悪化懸念等から国内株式は軟調だった一方で、米国の良好な経済指標等から外国株式は堅調に推移しましたが、5月以降は欧州財政懸念や世界的な景気減速懸念の強まり等から世界的に株価は下落基調となりました。

（第2四半期）

第2四半期の国内外株式市場は、引き続き米国景気減速懸念、欧州財政懸念や7月末にかけての米国債務上限引上げ交渉を巡る混乱等から下落し、8月には月初に政府日銀による円売り介入が実施されましたが、米国経済指標の悪化や米国債格下げ等を背景に世界的に大幅な株安が進行、9月も欧州債務問題の深刻化やFOMC声明での米国経済の下ぶれリスクへの言及等により軟調に推移しました。

（第3四半期）

第3四半期は、10月は欧州財政問題に対する過度な悲観論が後退、月末にEU首脳会議での欧州財政問題への包括戦略が合意され世界的に株価は上昇しました。11月にはギリシャがEU等の支援策受入について国民投票実施の考えを表明したことやイタリア長期金利が7%超に上昇する等、欧州債務問題の拡大・深刻化等を背景に世界的に株価は下落し、日経平均は年初来安値をつけました。その後は日米欧等の中銀による協調対応策の発表等を背景に12月上旬にかけて株価は上昇しましたが、中旬には欧州財政問題を背景に再び下落、その後下旬にかけては米国の良好な経済指標等から米国経済の底堅さが確認され上昇基調となりました。一方で、日経平均は上値が重く8,400円を挟んでもみ合いで推移しました。国内外長期金利（10年国債利回り）は、欧州財政問題を背景とした逃避的な買いにより、10年国債利回りは1%割れ、米国10年国債利回りは2%割れまで低下しました。為替は、10月末の為替介入後はドル円が78円近辺から77円近辺で推移し、対ユーロでは欧州財政問題を背景に100円割れまでユーロ安が進行しました。

2. 平成23年度第3四半期まで(平成23年4月～12月)のポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成23年度第3四半期まで(平成23年4月～12月)の被保険者及び期待者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成23年12月末の時価総額は1,496億76百万円となり、第3四半期までの総合収益は-43億3百万円となりました。また、修正総合利回りは-2.87%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 保険料・国庫補助 投下額等②	計 ③=①+②	平成23年12月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第3四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	101,560	794	102,354	104,173	69.6	1,819	1.77
自家運用	51,418	154	51,572	52,120	34.8	548	1.06
外部委託	50,142	641	50,782	52,053	34.8	1,271	2.49
国内株式	18,029	2,389	20,418	17,556	11.7	-2,862	-14.77
外国債券	7,579	330	7,909	7,613	5.1	-296	-3.78
外国株式	18,595	834	19,429	16,494	11.0	-2,935	-15.34
短期資産	328	3,540	3,868	※(注)5 3,839	2.6	-29	-5.97
合 計	146,091	7,887	153,979	149,676	100.0	-4,303	-2.87

- (注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。
 2. 国内債券のうち自家運用(満期保有分(基本的に50%))については、償却原価法を適用しています。
 3. 「第3四半期までの保険料・国庫補助投下額等②」欄は、受給権者経理への繰入額及び死亡一時金の給付額を控除しています。
 4. 信託報酬、有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替評価損益等は、短期資産で整理しています。
 なお、外貨流動性預金に係る為替評価損益等を整理する前の短期資産の利回りは、自家運用分が0.027%、外部委託分が0.002%となりました。
 5. 短期資産残高については、前納等の保険料の入金が生じたためです。
 6. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成23年度第3四半期(平成23年10月～12月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資 産	平成23年9月末 時価総額 ①	第3四半期保険料・ 国庫補助投下額等②	計 ③=①+②	平成23年12月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第3四半期総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	104,054	-255	103,799	104,173	69.6	374	0.36
自家運用	52,014	-78	51,937	52,120	34.8	183	0.35
外部委託	52,040	-178	51,862	52,053	34.8	191	0.37
国内株式	17,759	559	18,318	17,556	11.7	-762	-4.21
外国債券	7,493	163	7,657	7,613	5.1	-43	-0.57
外国株式	15,282	-133	15,149	16,494	11.0	1,345	8.82
短期資産	149	3,690	3,839	3,839	2.6	0	0.02
合 計	144,738	4,024	148,762	149,676	100.0	914	0.63

② 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成23年度第3四半期まで(平成23年4月～12月)における付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額等②	計 ③=①+②	平成23年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
付利準備金	短期資産	1,034	1	1,035	1,037	1.5	0.14
調整準備金	短期資産	941	-22	919	920	1.2	0.13
合 計		1,974	-20	1,954	1,957	2.6	0.13

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第3四半期までの繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額の差額を計上しています。

③ 受給権者ポートフォリオ

平成23年度第3四半期(平成23年4月～12月)における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額等②	計 ③=①+②	平成23年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	6,752	2,552	9,303	9,649	346	4.46
短期資産	132	21	153	153	0.1	0.03
合 計	6,884	2,572	9,457	9,802	346	4.33

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第3四半期までの繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、年金及び死亡一時金の給付額の差額を計上しています。

④ 受給権者危険準備金ポートフォリオ

平成23年度第3四半期(平成23年4月～12月)における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

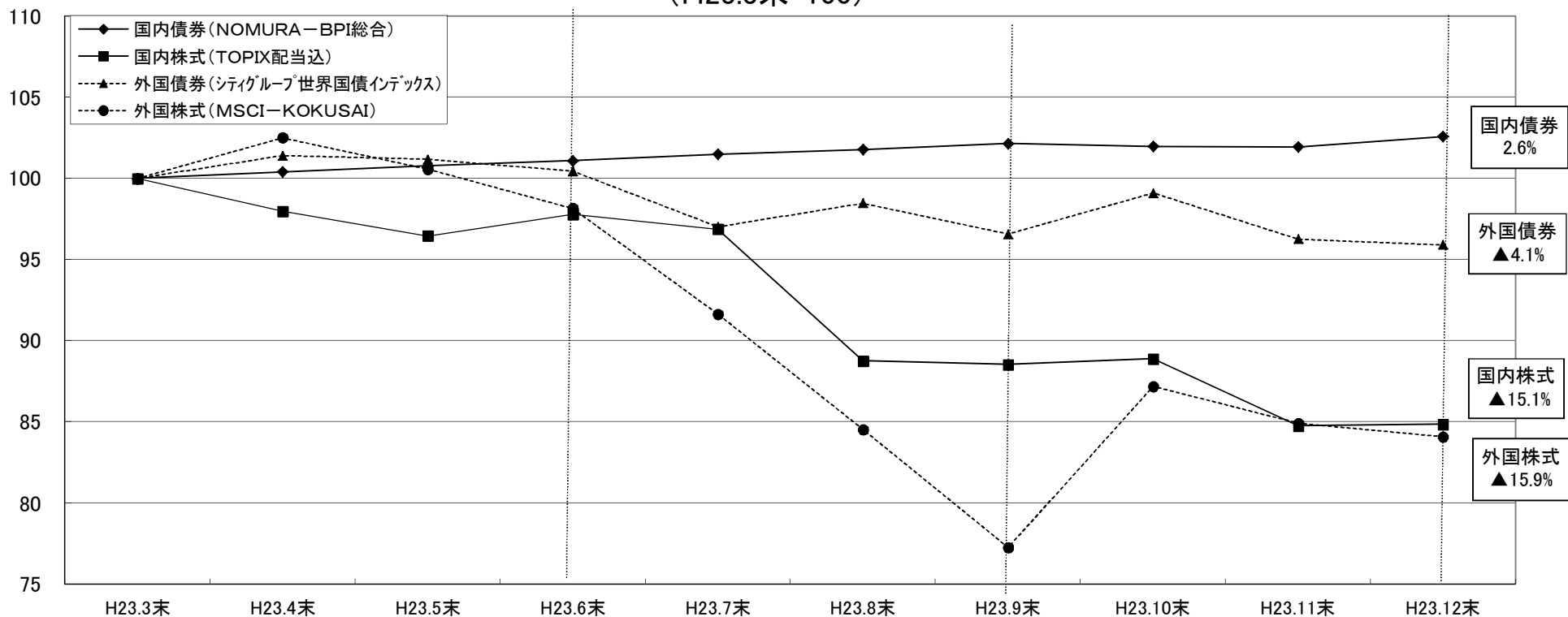
(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第3四半期までの 繰入額②	計 ③=①+②	平成23年12月末 時価総額 ④	第3四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
調整準備金	短期資産	575	109	684	685	0.7	0.12

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第3四半期までの繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額及び被保険者危険準備金ポートフォリオからの受入額の合計額を計上しています。

ベンチマーク・インデックスの推移 (H23.3末=100)



○運用環境

	平成23年3月末	平成23年6月末	平成23年9月末	平成23年12月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.249 %	1.131 %	1.025 %	0.980 %
(NOMURA-BPI総合)	328.522 ポイント	332.090 ポイント	335.574 ポイント	336.989 ポイント
国内株式(日経225)	9,755.10 円	9,816.09 円	8,700.29 円	8,455.35 円
(TOPIX配当込)	1,102.75 ポイント	1,078.22 ポイント	976.39 ポイント	935.71 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	3.472 %	3.161 %	1.916 %	1.877 %
(独10年国債利回り)	3.354 %	3.025 %	1.887 %	1.829 %
(シティグループ世界国債インデックス)	290.67 ポイント	291.94 ポイント	280.68 ポイント	278.77 ポイント
外国株式(NYダウ)	12,319.73 ドル	12,414.34 ドル	10,913.38 ドル	12,217.56 ドル
(独DAX指数)	7,041.31 ポイント	7,376.24 ポイント	5,502.02 ポイント	5,898.35 ポイント
(MSCI-KOKUSAI)	1,209.121 ポイント	1,186.748 ポイント	934.118 ポイント	1,016.601 ポイント
為替レート(対ドル)	82.88 円	80.76 円	77.08 円	76.94 円
(対ユーロ)	117.62 円	117.09 円	103.42 円	99.88 円

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。